

令和6年度 北九州市立企救中学校 学校経営方針

北九州市立企救中学校
校長 末包 智幸

1 学校経営理念

「一人一人ひとつひとつを大切に」

2 学校教育目標

「夢と希望に向かって努力し、他を思いやる、豊かな心をもった生徒を育む。」

3 学校教育スローガン

「場を清め 時を守り 礼を正す」 「凡事徹底」

4 学校教育目標達成に向けて目指す学校像、生徒像、教師像

(1) 目指す学校像

- ①生徒と教師の目標が達成され、生徒が行きたい、保護者が行かせたい、地域が応援したいと思える学校
- ②教職員が共に学び合い、協働して活動するやりがいのある学校
- ③生徒・保護者・地域の願いに応える信頼される学校
- ④生徒の夢と心が育つ学校。

(2) 目指す生徒像

- ①自他の生命や人権を大切にし、相手を思いやり、人の心の痛みや優しさを素直に感じ取れる生徒。
- ②向上心を持って、労をいとわず、人のために誠実に行動できる生徒。
- ③人として行うべき正しい行動や、物事の正しい筋道を見抜く力を持った生徒。
- ④自ら考え、正しく判断し、信念と責任を持って、強い心でやり通すことのできる生徒。

(3) 目指す教師像

- ①生徒のために「知恵を出し、汗をかき、涙を流す」ことを惜しまない教師
- ②責任ある態度や実践力・言葉を通して、生徒・保護者・地域から信頼され、「厳しいけれど冷たくない。温かいけれど甘くない」関わりを大切にする教師。
- ③学校教育目標の達成を目指し、「チーム企救中」として、人間関係を大切にしながら組織的に教育活動に取り組む教師。
- ④教育公務員としての使命を自覚し、自己研鑽する教師。

5 本年度の重点目標

(1) 確かな学力の向上と健やかな体の育成

- 「北九州市学力・体力向上アクションプラン」のもと、日々の継続的な取組を推進する。
- 授業規律の確立と授業改善、効果的な補充学習、オンライン授業の取組や、家庭と連携した家庭学習習慣の定着を図る。

(2) 持続可能な社会を構築する態度の育成

- 規律ある生活習慣の確立と、組織的・機動的な生徒指導体制の充実を図る。

○学校行事、生徒会活動、人権教育、道德教育、環境教育、食育等の充実を図るとともに、本市の強みを生かした教科横断的な学びを推進する。

※SDGsの視点を踏まえた教育の推進

(3) 生命尊重を基盤とした、安全・安心な学校づくり

- 自らの命を守る力（危険予測・回避能力）の育成
- 北九州市型コミュニティ・スクールの推進

6 重点目標達成のための具体的方策

◎全職員で作成した「企救中学校スクールプラン」の達成に向けた取組の充実

(1) 確かな学力の向上と健やかな体の育成

- ① 学力向上委員会及び各推進部（授業改善、補充学習、学習規律）を機能させ、組織的に取り組むことで学力向上を図り、一人一人の生徒の進路を保障する。
 - ・学習規律と学習意欲の向上のための「企救中5つの学習ルール（チャイム席を守る、姿勢を正す、先生の話をしっかり聞く、忘れ物をしない、学習環境を整える）」の確立
 - ・教科ごとの授業参観の実施
 - ・補充学習・家庭学習（朝自習、小テスト、企救チャレンジノート、定期考査前の取組等）の充実
 - ・大学生による授業補助の実施（北九州市立大学等）
- ② 教育活動全体（保健体育科授業、体育的行事、部活動指導等）を通して生徒の体力向上を図る。
 - ・一人一人が達成感を味わえる授業の工夫・新体力テストに向けた効果的な取組

(2) 持続可能な社会を構築する態度の育成

- ① 豊かな心を育てる活動の推進
 - ・学校の教育活動全体を通して道德教育の充実を図り、正義感や倫理観、生命尊重、思いやりの心等を育むとともに、一人一人の生徒に夢と希望をもたせる。
 - ・人権教育の視点に立って一人一人を大切に取る取組を実践しながら、自他の人権を大切に思う心をもった生徒を育むとともに、自尊感情の育成を図る。
 - ・自己の将来に夢をもたせ、望ましい勤労観・職業観を育成するため、キャリア教育や体験活動を推進する。
 - ・学校行事（体育大会、企救中フェスティバル等）やPTA行事、地域行事において、保護者や地域とのつながりを重視し、学校・家庭・地域が連携して子どもを育てる環境をつくる。
- ② 規律ある生活習慣の確立と、組織的・機動的な生徒指導体制の充実を図る。
 - ・規律ある生活習慣の確立のため、「場を清める（掃除の励行、環境美化、履物を揃え「時を守る（時間厳守、チャイム席）」「礼を正す（挨拶、返事、言葉づかい、正しい服装）」の徹底を行い、『凡事徹底』に取り組む。
 - ・学級や学年の枠を越えた、組織的・機動的な生徒指導体制の確立のため、教職員相互の情報交換、情報共有を密に行いながら、特別支援教育の視点に立った生徒指導を推進する。
 - ・いじめ、不登校、虐待等、問題事象を生まない教育実践の充実を図り、生徒の発するSOSを見逃さず、学校と関係機関が連携した、未然防止・早期発見・早期対応・早期解決に努める。
 - ・教育相談やチャンス相談等を活用し、生徒の目線に立った生徒理解に努める。

・不登校生徒一人でも学校復帰、進路選択できるように、地域・大学・関係機関を使い学校復帰プロジェクト（ばってりー）の活用を行う。

※危機回避→先手を打ち、問題行動が生じない環境づくり。

※初動が命→その日にあった事はその日に対応・処理を原則とし、初期対応は慎重かつ丁寧に。

※危機管理の「さしすせそ」

→最悪を想定し、慎重に、素早く、誠意をもって、組織で対応。

※報告・連絡・相談の徹底→一人で抱え込まない。

※記録の充実→記憶は薄れる、記録は残る。

（３）生命尊重を基盤とした、安全・安心な学校づくり

○生徒との望ましい人間関係づくりに努め、受容的・共感的な生徒理解の視点に立った学級、学年、学校づくりを目指す。

○「環境が人を育てる」の言葉を大切にし、安全で効果的な教育環境の整備と、文化的で魅力ある学習環境の創意・工夫に努め、公共物を大切にする心や美しい環境を愛する心を育成する。

○北九州市防災教育プログラム等を有効に活用した防災教育を推進することにより、生徒・職員の危機管理意識を高め、命の大切さを認識させる。

○北九州市型コミュニティ・スクールを段階的に実施し、地域がより良く学校運営に参画する持続可能な仕組みを構築させる。

７ 重点目標達成のために大切にしていきたいこと

（１）互いの立場を尊重し、仕事がやりやすい職場の雰囲気をつくるとともに、報告・連絡・相談を大切にしながら共通理解・共通実践を進め、「チーム企救中」を目指す。

（２）教職員としての資質向上のために効果的なＯＪＴ、ＯＦＦＪＴ，自己研鑽を行い、教師力と人間力の向上を目指す。

（３）教育公務員としての自覚をもち、綱紀粛正に努める。